

## 構想に関する意向調査（アンケート方式）結果

1 . 調査概要	.....	1 p
2 . 調査結果	.....	2 p

# 構想に関する意向調査（アンケート方式）結果

## 1 . 調査概要

### （ 1 ） 調査目的

市町村の現況及び将来見通し，合併の必要性等について調査を行い，茨城県市町村合併推進審議会における構想の調査審議に当たっての基礎資料とする。

### （ 2 ） 調査対象

県内全ての市町村長（ 4 4 市町村 ） に対し実施する。

なお，平成 1 8 年 2 月以降に合併する市町村については，合併関係市町村長間で協議調整を行い，新市の方針として回答するものとする。

### （ 3 ） 調査時期

平成 1 8 年 1 月

### （ 4 ） 調査項目

市町村の現況及び将来の見通し

人口・高齢化の見通し，住民ニーズ，財政状況，財政見通し等

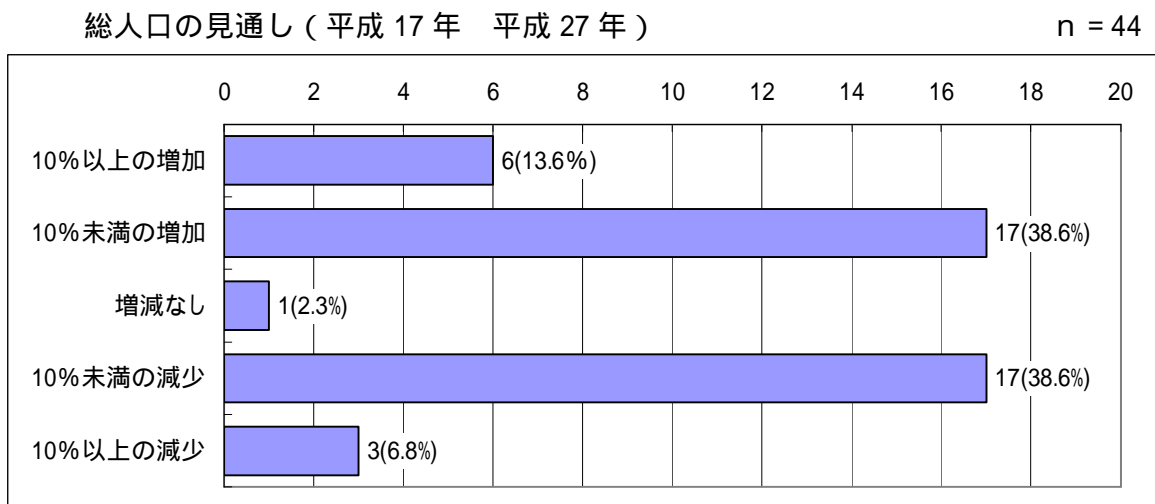
合併の必要性等

合併の必要性，必要な場合の時期及び組合せ，合併を検討する際の課題，県に期待する支援等

## 2 . 調査結果

### ( 1 ) 市町村の現況及び将来の見通し

問 1 将来の人口の増減や高齢化について、どのようにお考えですか。  
貴市町村の人口、高齢化率の状況、今後の見通しについてご記入願います。

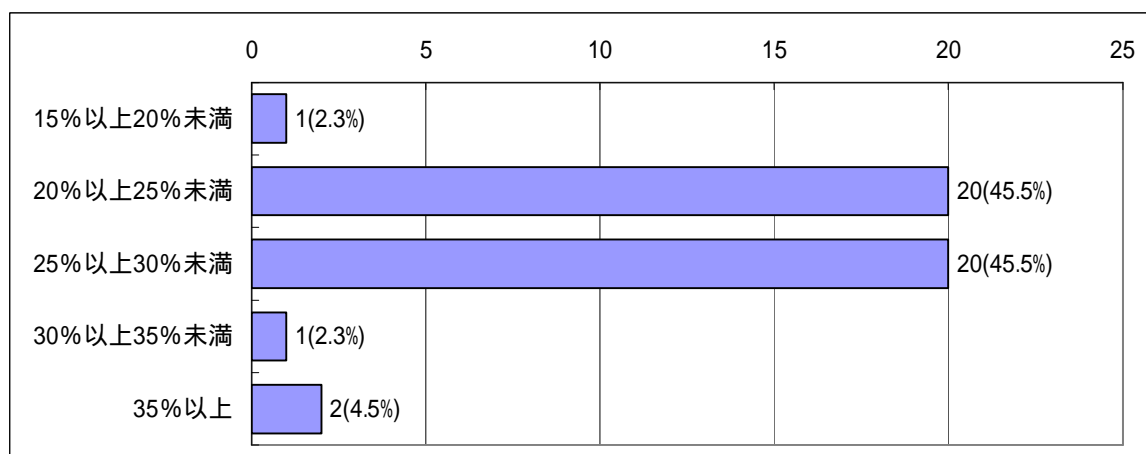


#### < 概要 >

- ・ 平成 17 年から 27 年までの 10 年間に人口の増加を見込む市町村は 23 市町村，反対に減少を見込む市町村は 20 市町村となっている。
- ・ 一方，国立社会保障・人口問題研究所の平成 27 年の総人口推計(平成 15 年 12 月推計)と比較すると，23 市町村が人口問題研究所の推計人口より多い人口を回答している。

### 高齢化の見通し(平成 27 年)

n = 44



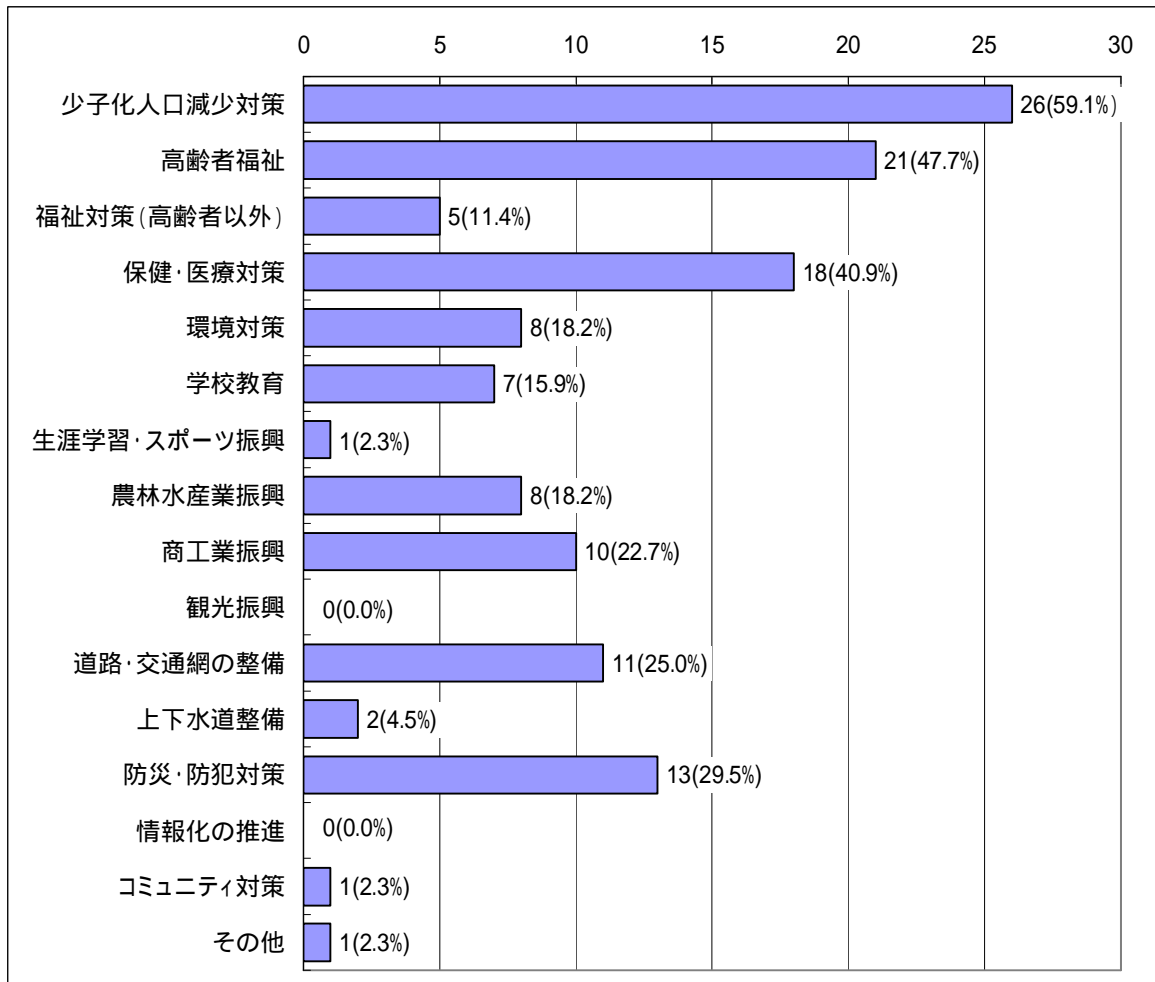
#### < 概要 >

- ・ 平成 27 年時点における高齢化率は、「20%以上 25%未満」および「25%以上 30%未満」と見込む市町村の数がそれぞれ 20 と最も多い。
- ・ また、3 市町村において「3 人にひとり以上が高齢者」である状況になると見込んでいる。
- ・ 一方、国立社会保障・人口問題研究所の推計(平成 15 年 12 月推計)によると、平成 27 年の高齢化率は、20%未満の市町村が 1、20～25%が 11、25～30%が 30、30～35%が 0、35%以上が 2 となっている。

問2 社会経済状況の変化等に伴い、住民ニーズが多様化しておりますが、貴市町村では、今後、どのような施策における住民ニーズが高くなると思われますか。

今後高まると予想される住民ニーズ（3つ以内）

n = 44



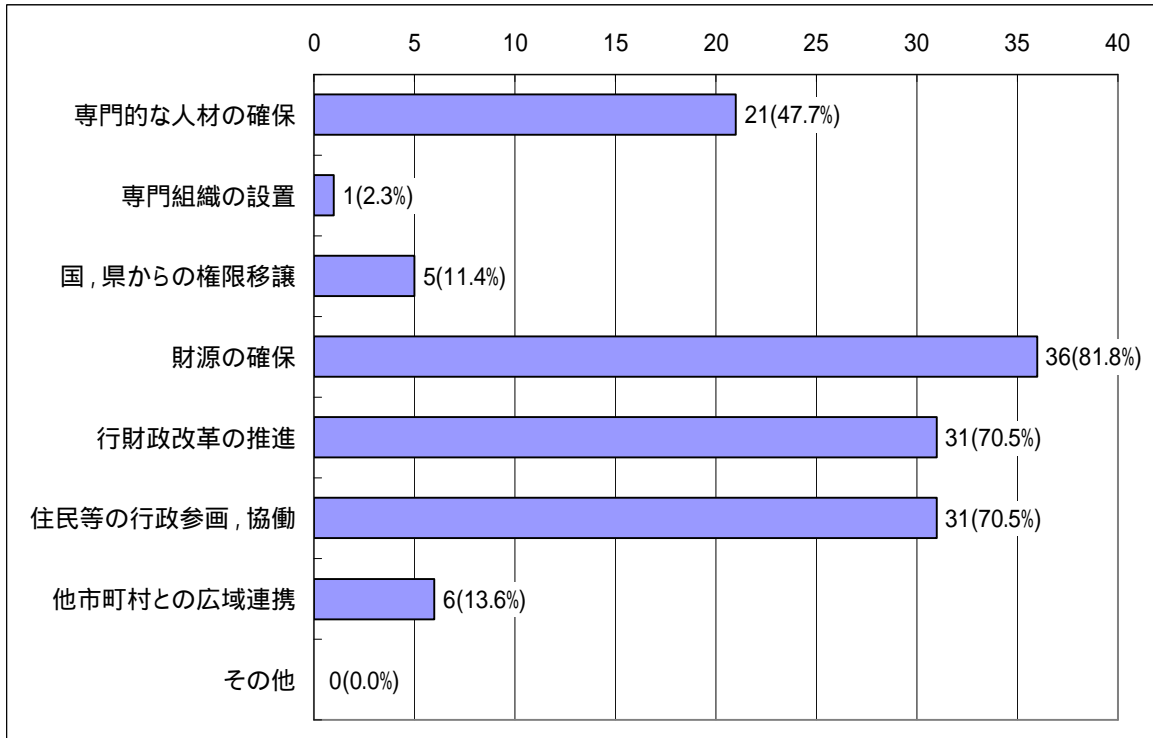
< 概要 >

- ・ 今後、高まると予想される住民ニーズとしては、「少子化人口減少対策」が最も多い26の市町村から挙げられており、「高齢者福祉」、「保健・医療対策」がこれに続いている。
- ・ 約半数の市町村が人口減少の見通しを持っていることから、少子高齢社会への対応が最も大きな課題となっていることが伺える。

問3 前記の住民ニーズに対応するため、貴市町村では、今後必要となると考えられるものは何ですか。

住民ニーズ対応のため必要なもの（3つ以内）

n = 44



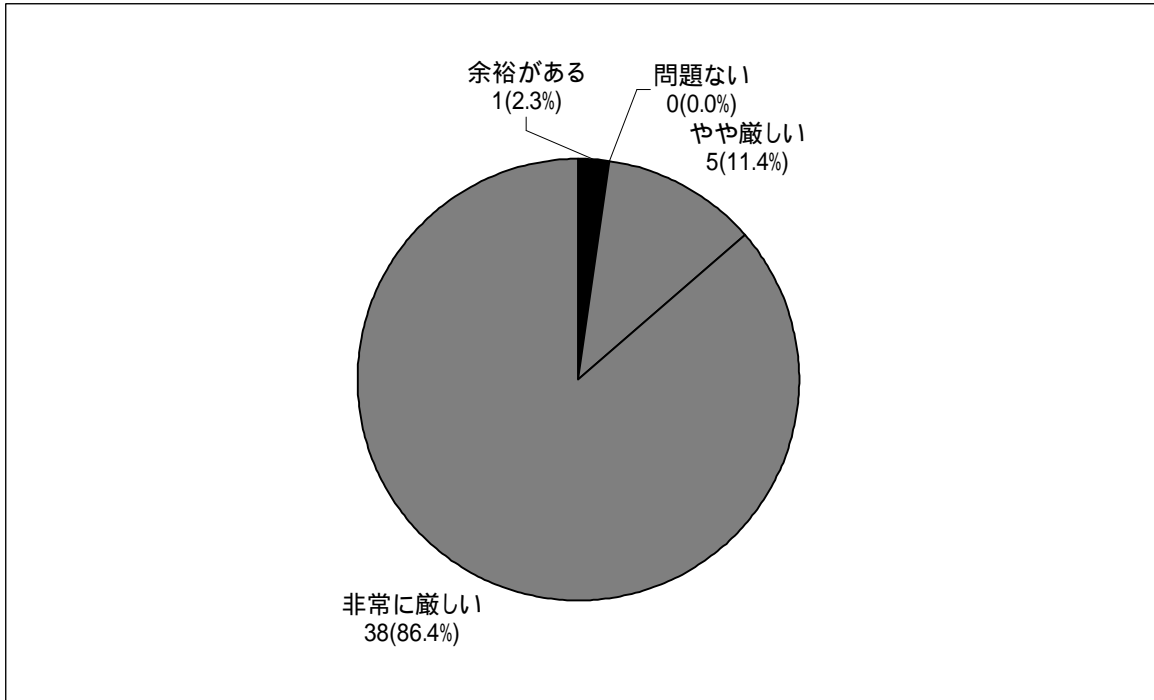
< 概要 >

- ・ 高まる住民ニーズへの対応のために、必要なこととして考えられているものは「財源の確保」で、最も多い36の市町村が挙げている。
- ・ 次いで「行財政改革の推進」、「住民等の行政参画、協働」がこれに続いている。

問4 現在の貴市町村の財政状況について、どのようにお考えですか。

現在の財政状況

n = 44



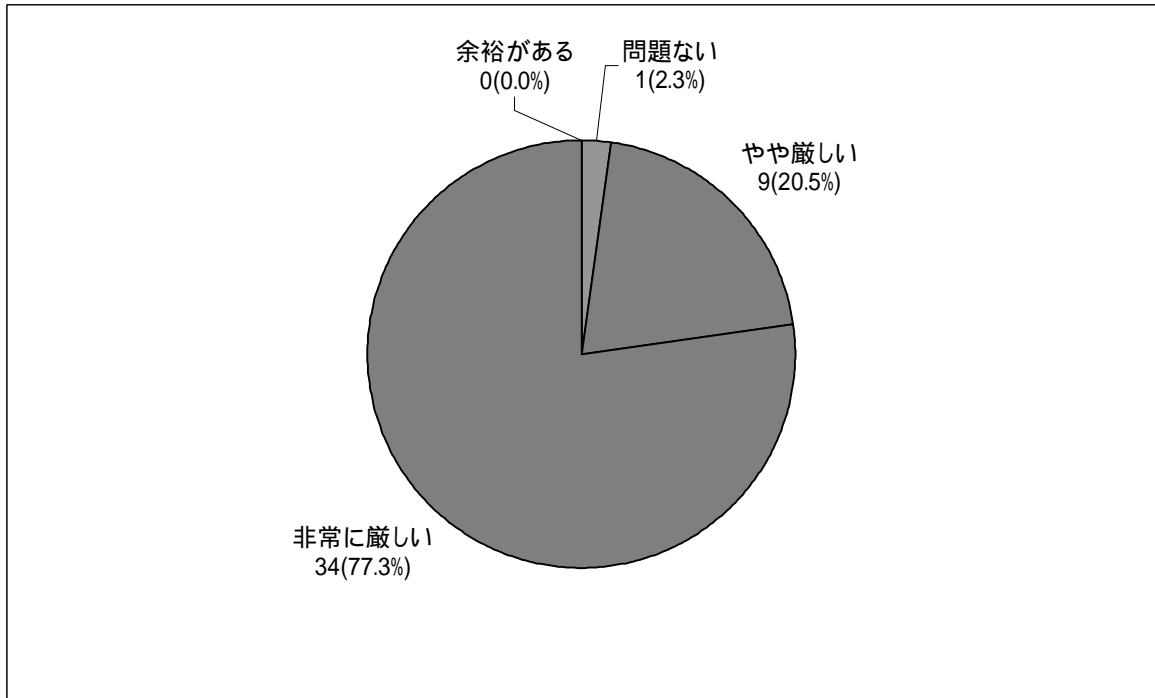
< 概要 >

- ・ 現在の財政状況については、「非常に厳しい」と考えている市町村が38市町村と8割を超え、「やや厳しい」の5市町村を合わせると、ほぼすべての市町村が「厳しい」と認識していることがわかる。
- ・ 「余裕がある」との回答は東海村のみである。
- ・ 「やや厳しい」と回答したのは、取手市、守谷市、常陸大宮市、筑西市、河内町である。
- ・ 「非常に厳しい」と考える理由は、「地方交付税の削減」「税収の伸び悩み」などが多くの市町村から挙げられており、歳入確保の面に大きな問題があるという状況が伺える。

問5 将来の貴市町村の財政見通し（今後10年間程度）について、どのようにお考えですか。

将来の財政見通し

n = 44



< 概要 >

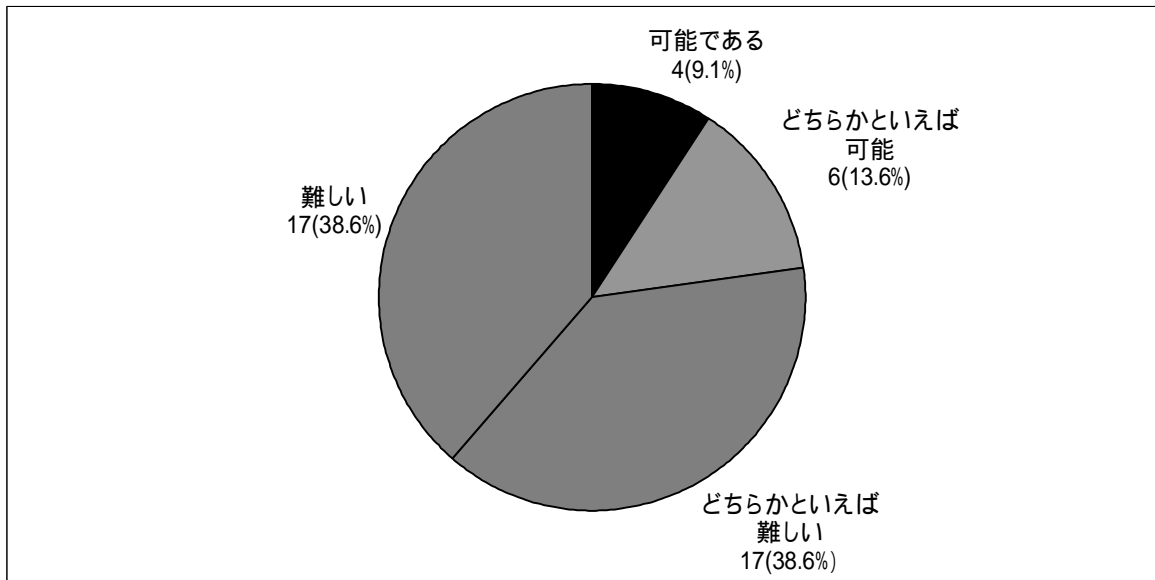
- ・ 将来の財政見通しについては、「非常に厳しい」と考えている市町村が34と8割近くを占め、「やや厳しい」の9市町村を合わせると、ほとんどの市町村が厳しいとの見通しをもっている。
- ・ 「問題ない」とするのは、東海村のみである。
- ・ 「やや厳しい」と回答したのは、古河市、取手市、つくば市、鹿嶋市、守谷市、筑西市、小美玉市、阿見町、河内町である。
- ・ 現在の財政状況と比較すると若干だが、「非常に厳しい」とする市町村が減っている。
- ・ 将来の見通しが厳しいと考える理由は、三位一体の改革に伴う地方交付税の削減が複数の市町村から挙げられており、歳入不足に対する懸念が多く見られる。
- ・ 一方、明るい見通しとしては、「つくばエクスプレス沿線開発の効果」や「合併効果による改善」が挙げられた。



問 6 現在の行財政状況や将来の見通し及び多様化する住民ニーズを踏まえ、貴市町村は将来（今後 10 年間程度）も現在と同程度の行政水準を維持していくことが可能であると思いますか。

将来の行政水準の維持の可能性

n = 44



回答	市町村名
可能である（4 市村）	つくば市, 鹿嶋市, 守谷市, 東海村
どちらかといえば可能（6 市町）	古河市, 高萩市, 牛久市, 筑西市, 神栖市, 小美玉市（小川町・美野里町・玉里村）
どちらかといえば難しい（17 市町）	土浦市（土浦市・新治村）, 石岡市, 龍ヶ崎市, 下妻市, 常総市, 取手市, ひたちなか市, 常陸大宮市, 坂東市, かすみがうら市, 桜川市, 大洗町, 大子町, 阿見町, 河内町, 八千代町, 境町
難しい（17 市町村）	水戸市, 日立市, 結城市, 常陸太田市, 北茨城市, 笠間市, 潮来市, 那珂市, 稲敷市, 行方市, 鉾田市, つくばみらい市（伊奈町・谷和原村）, 茨城町, 城里町, 美浦村, 五霞町, 利根町

< 概要 >

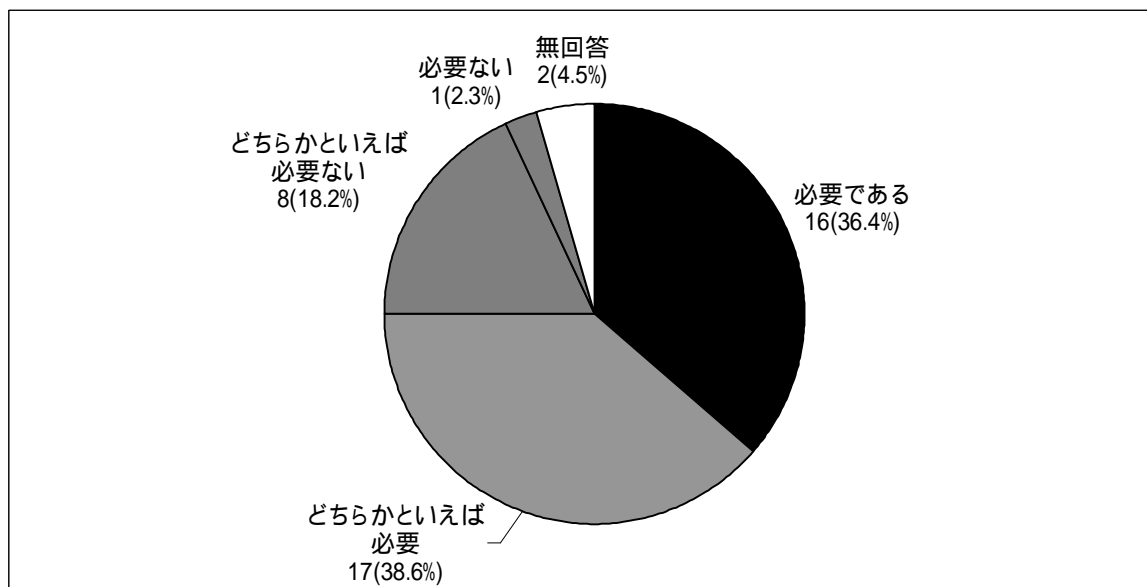
- ・ 将来の行政水準の維持の可能性については、「難しい」と「どちらかといえば難しい」がそれぞれ 17 市町村あり、両方を合わせると 8 割近くを占めている。
- ・ 行政水準の維持が難しい理由としては、主として「自主財源の増加が見込めない中、少子高齢化などにより財政負担が増加すること」や「高度化・多様化する住民ニーズへの対応」が多くの市町村で挙げられている。
- ・ また、維持が可能である、という理由としては、「徹底した行財政改革の推進」や「住民との協働」が挙げられている。

## ( 2 ) 合併の必要性等

問7 市町村の役割がますます拡大し,多様化する住民ニーズや広汎な事務に的確に対応することが求められておりますが,貴市町村は,将来に向けて,他の市町村と合併することが必要であると思いませんか。

合併の必要性

n = 44



回答	市町村名
必要である(16市町)	水戸市, 龍ヶ崎市, 常総市, 北茨城市, 取手市, 鹿嶋市, 潮来市, 守谷市, 那珂市, かすみがうら市, 桜川市, 茨城町, 城里町, 河内町, 境町, 利根町
どちらかといえば必要である(17市町村)	土浦市(土浦市・新治村), 石岡市, 結城市, 下妻市, 高萩市, 牛久市, つくば市, ひたちなか市, 筑西市, 稲敷市, 行方市, つくばみらい市(伊奈町・谷和原村), 大洗町, 美浦村, 阿見町, 八千代町, 五霞町
どちらかといえば必要ない(8市村)	日立市, 古河市, 常陸大宮市, 坂東市, 神栖市, 鉾田市, 小美玉市(小川町・美野里町・玉里村), 東海村
必要ない(1市)	常陸太田市
無回答(2市町)	笠間市(笠間市・友部町・岩間町), 大子町

### < 概要 >

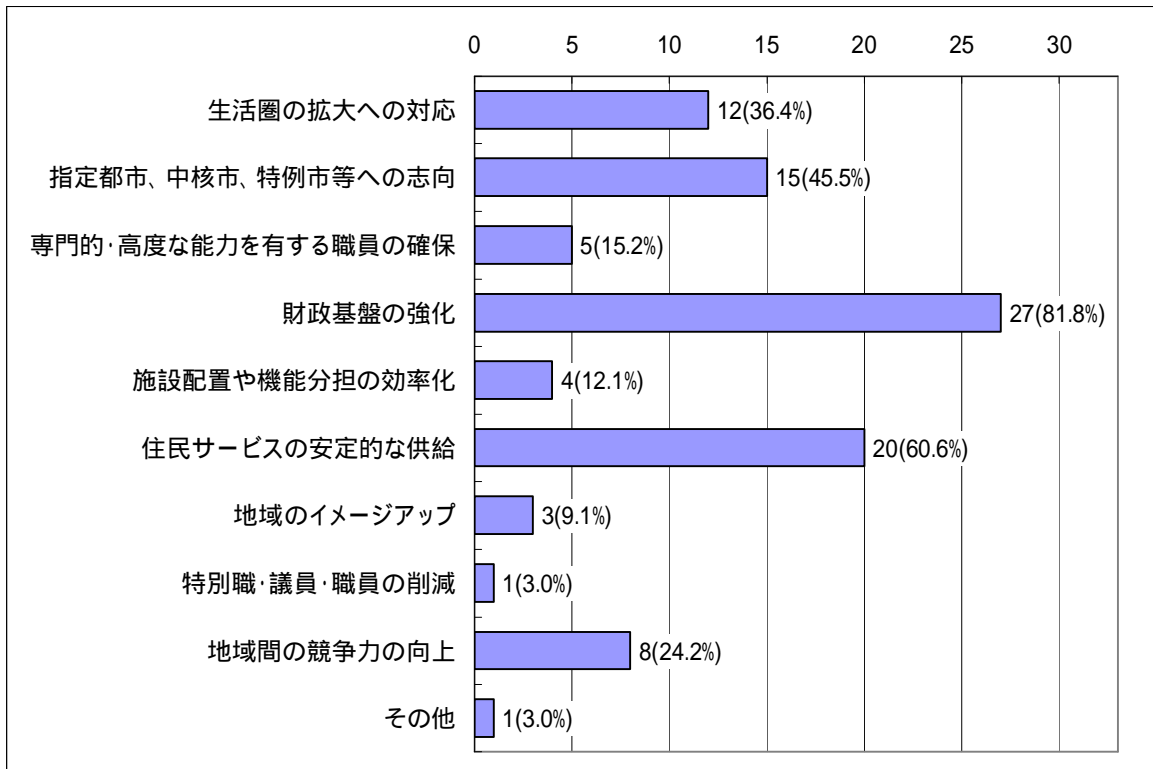
- ・ 合併が必要である(「どちらかといえば必要である」を含む)と考えている市町村は33市町村にのぼり,全体の7割を超えており,合併の必要性について高い認識を示している。
- ・ 一方,合併は必要ない(「どちらかといえば必要ない」を含む)と考えている市町村は9市町村となっているが,東海村を除き全て合併した市である。

問7 - 1 市町村合併について「必要である」「どちらかといえば必要である」と考える理由は何ですか。

(問7で「必要である」「どちらかといえば必要である」と回答した市町村のみ対象)

合併が必要と考える理由(3つ以内)

n = 33



< 概要 >

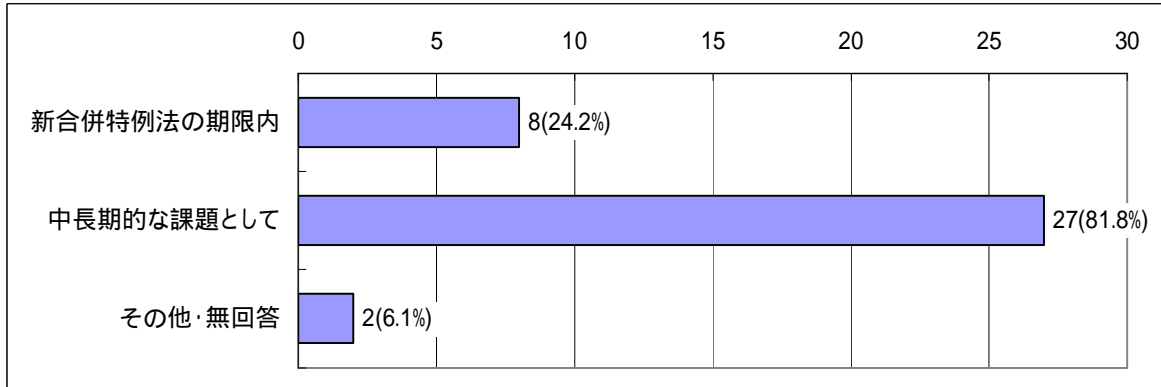
- ・ 合併が必要である理由としては、「財政基盤の強化」が最も多い27の市町村から挙げられており、「住民サービスの安定的な供給」がこれに続いている。
- ・ 「指定都市、中核市、特例市等への志向」も15市町村と、水戸市やつくば市をはじめ多くの市町から挙げられた。

問7 - 2 合併が必要と考える時期は、いつ頃とお考えですか。

(問7で「必要である」「どちらかといえば必要である」と回答した市町村のみ対象)

合併が必要な時期 (複数回答)

n = 33



回答	市町村名
新合併特例法の期限内 - 平成 21 年度まで - ( 8 市町 )	水戸市, 北茨城市, 守谷市, 茨城町, 河内町, 五霞町, 境町, 利根町
中長期的な課題として - 平成 22 年度以降 - ( 27 市町村 )	水戸市, 土浦市 (土浦市・新治村), 石岡市, 結城市, 下妻市, 常総市, 高萩市, 取手市, 牛久市, つくば市, ひたちなか市, 鹿嶋市, 潮来市, 守谷市, 那珂市, 筑西市, 稲敷市, かすみがうら市, 桜川市, 行方市, つくばみらい市 (伊奈町・谷和原村), 大洗町, 城里町, 阿見町, 河内町, 八千代町, 境町
その他 ( 2 市村 )	龍ヶ崎市 (時期については白紙。民意による) 美浦村 (無回答)

< 概要 >

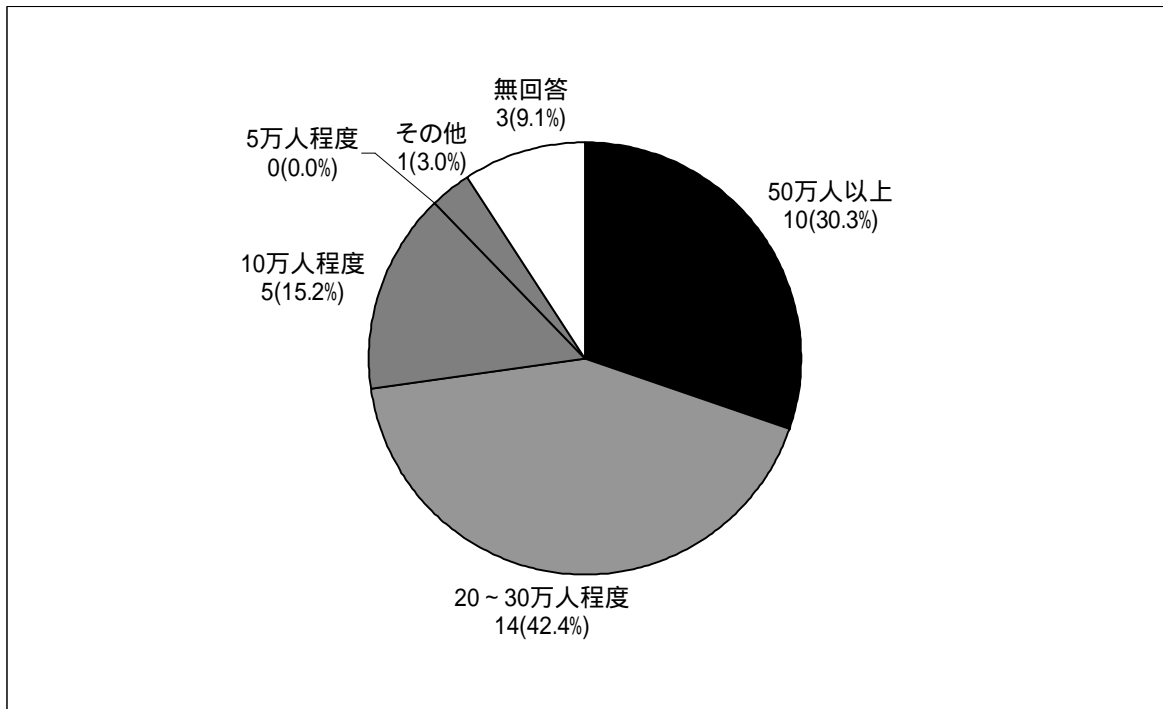
- ・ 合併が必要と考えている市町村の多くは、その時期を「中長期的な課題」として考えている。
- ・ 8市町(水戸市,北茨城市,守谷市,茨城町,河内町,五霞町,境町,利根町)においては、新合併特例法の期限内(平成21年度まで)の合併が必要と考えている。
- ・ なお、水戸市,守谷市,河内町,境町については、「新合併特例法の期限内」と「中長期的な課題として」の両方に回答があり、段階的により広域的な合併が必要との意識があることが伺える。

問7 - 3 貴市町村における将来望ましいと思われる人口規模は、どれくらいだと思いますか。

(問7で「必要である」「どちらかといえば必要である」と回答した市町村のみ対象)

将来望ましい人口規模

n = 33



< 概要 >

- ・ 将来望ましい市町村の人口規模は、「20~30万人程度」が最も多い14の市町村から挙げられている。
- ・ 次いで「50万人程度」が10市町村となっている。

問7 - 4 具体的な相手方についてどのようにお考えですか。考えられる市町村の組合せをご記入願います。

(問7で「必要である」「どちらかといえば必要である」と回答した市町村のみ対象)

考えられる市町村の組合せ

n = 33

新合併特例法の期限内(平成21年度まで)

回答市町村	考えられる市町村の組合せ
水戸市	水戸市, 茨城町
北茨城市	日立市, 高萩市, 北茨城市
守谷市	常総広域圏内(常総市, 取手市, 守谷市, つくばみらい市)
茨城町	水戸市, 茨城町
河内町	龍ヶ崎市, 河内町, 利根町
五霞町	古河市, 五霞町, 境町 五霞町, 幸手市, 栗橋町
境町	古河市, 坂東市, 五霞町, 境町
利根町	龍ヶ崎市, 利根町

中長期的な課題として(平成22年度以降)

回答市町村	考えられる市町村の組合せ
水戸市	水戸市, ひたちなか市, 那珂市, 笠間市, 小美玉市, 大洗町, 城里町, 東海村
土浦市 (土浦市・新治村)	土浦市, つくば市, 牛久市, 阿見町
石岡市	
結城市	
下妻市	下妻市, つくば市
常総市	
高萩市	日立市, 高萩市, 北茨城市
取手市	県南地域
牛久市	
つくば市	土浦市, つくば市, 牛久市 つくばエクスプレス沿線自治体 *いずれの組合せも中長期的な視点と市民理解による
ひたちなか市	ひたちなか市, 那珂市, 東海村
鹿嶋市	

回答市町村	考えられる市町村の組合せ
潮来市	鹿嶋市，潮来市，行方市，神栖市，銚田市
守谷市	県南地区の全市町村を対象
那珂市	
筑西市	筑西市，結城市，桜川市
稲敷市	稲敷市，美浦村，阿見町，河内町
かすみがうら市	石岡市，土浦市，つくば市，小美玉市，牛久市，阿見町を対象に
桜川市	筑西広域市町村圏（筑西市，結城市，桜川市）
行方市	潮来市，行方市，銚田市，小美玉市
つくばみらい市 （伊奈町・谷和原村）	
大洗町	水戸市，ひたちなか市，那珂市，大洗町，東海村
城里町	水戸市，城里町
阿見町	牛久市・阿見町
河内町	龍ヶ崎市，牛久市，美浦村，阿見町，河内町，利根町
八千代町	西南広域市町村圏（古河市，下妻市，常総市，坂東市，八千代町，五霞町，境町）
境町	古河市，下妻市，結城市，坂東市，八千代町，五霞町，境町

#### その他

回答市町村	考えられる市町村の組合せ
龍ヶ崎市	時期に関係なく，龍ヶ崎市，牛久市，利根町が基本

#### < 概要 >

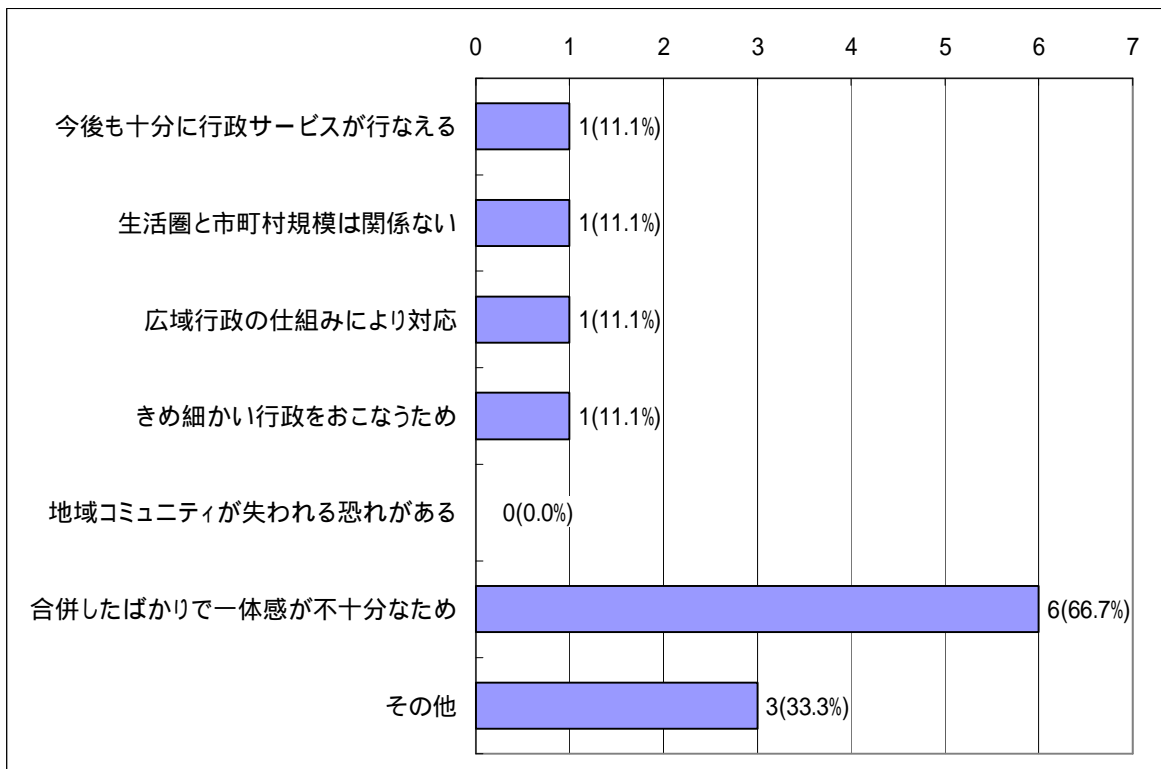
- ・ 新合併特例法の期限内においては，既に合併協議会が設置されている水戸市と茨城町で双方に合併の相手方としての認識が持たれている。
- ・ また，龍ヶ崎市，利根町，河内町周辺や五霞町，境町周辺で組合せは異なるものの双方に合併の相手方としての認識が持たれている。
- ・ 中長期的な課題としての組合せにおいては，比較的規模が大きな市を意識する回答が多くみられる。
- ・ なお，水戸市，守谷市，河内町，境町については，「新合併特例法の期限内の組合せ」と「中長期的な課題としての組合せ」の両方に回答があり，段階的により大きい都市が必要との意識があることが伺える。

問7 - 5 市町村合併について「必要ない」、「どちらかといえば必要ない」と考える理由は何ですか。

(問7で「必要ない」「どちらかといえば必要ない」と回答した市町村のみ対象)

合併が必要ない理由(3つ以内)

n = 9



< 概要 >

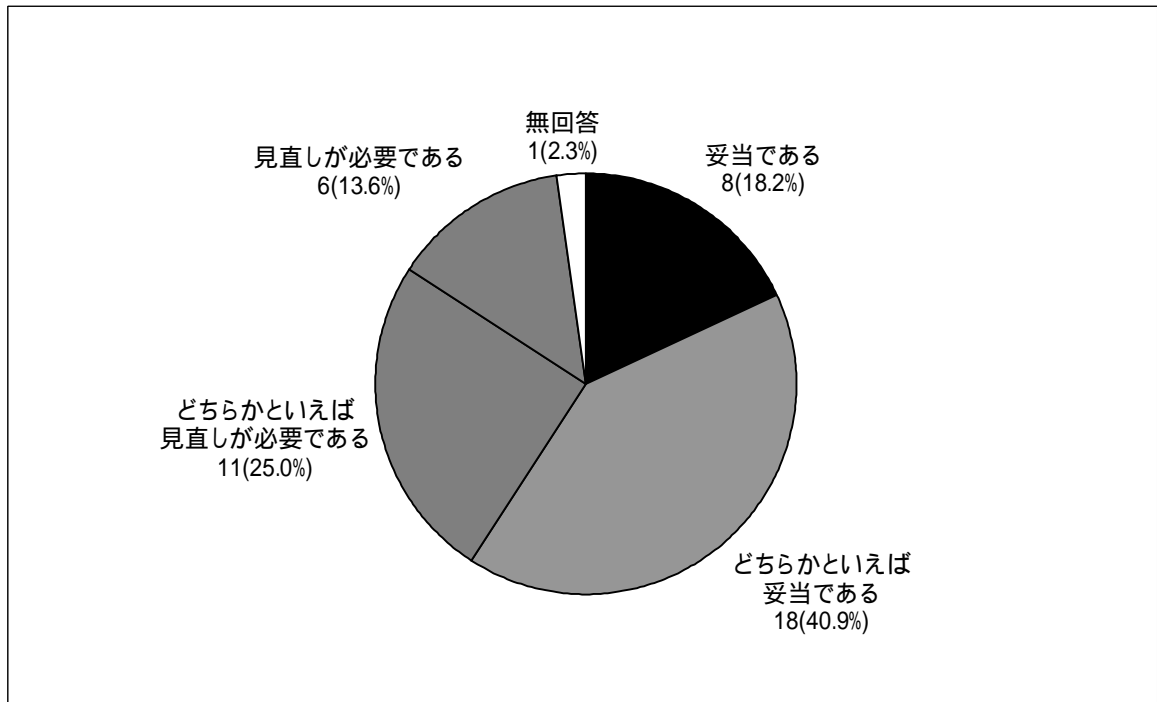
- ・ 合併が必要ない理由としては、「合併したばかりで一体感が不十分なため」が最も多く、6市町村から挙げられている。
- ・ その他の理由としては、「まだ次の合併を考える段階に来ていない」とする市町村が2つあり、合併した市においては、合併後のまちづくりや新市の一体感の醸成が優先と考えられる。



問 8 県では、平成 12 年度に「茨城県市町村合併推進要綱」を策定し、将来目指すべき合併パターンを示しましたが、これまでの合併を踏まえ再度検討したいと考えております。この合併パターンにおける貴市町村の組み合わせについて、どのように考えていますか。

茨城県市町村合併推進要綱（平成 12 年度策定）に対する考え

n = 44



< 概要 >

- 平成 12 年度策定の茨城県市町村合併推進要綱における将来目指すべき合併パターンについては、現在も妥当である（「どちらかといえば妥当である」を含む）と考えている市町村が 26 市町村と約 6 割を占めている。

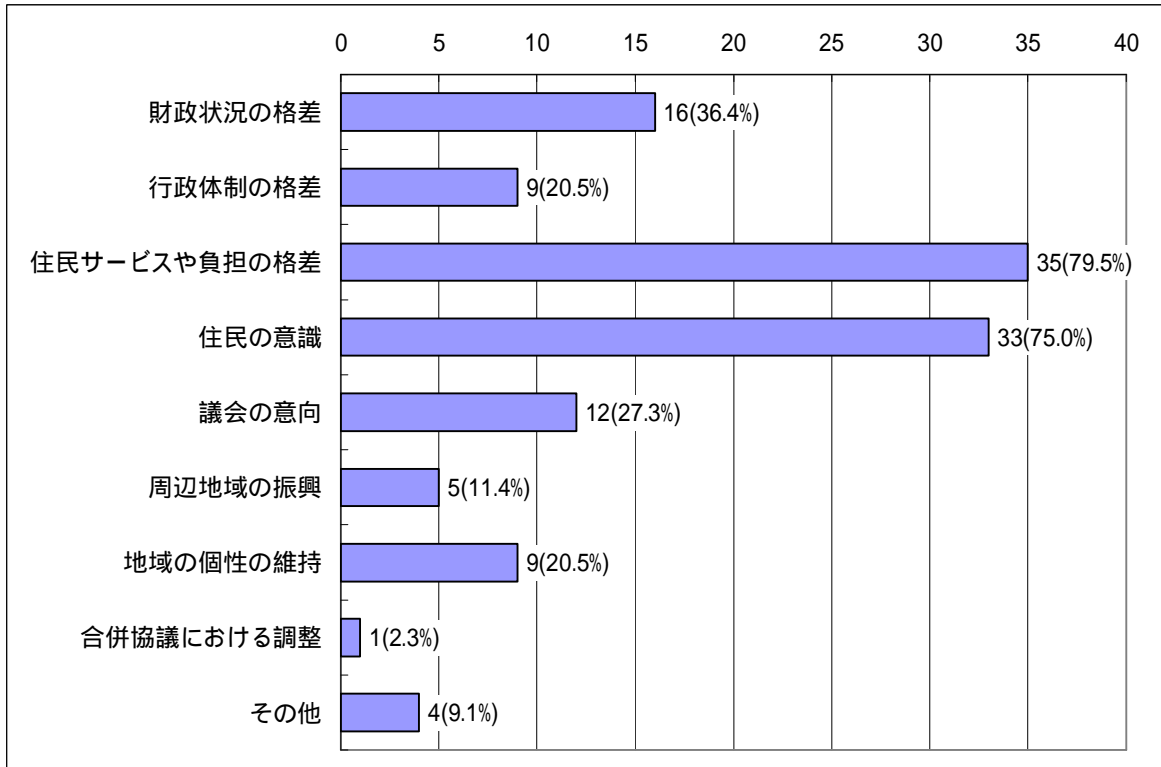
< (問 8 - 1) 見直しが必要な理由 >

- 見直しが必要である（「どちらかといえば見直しが必要である」を含む）と考えている市町村の理由としては、「平成 12 年度作成のパターンと実際の合併の違いを見直す」意見や「平成 12 年度作成のパターンより広域的な合併を志向する」意見が多く見られる。

問9 合併の検討を進めていく際に課題となると考えられるものは、何だと思えますか。

合併の検討を進める際に課題となること（3つ以内）

n = 44



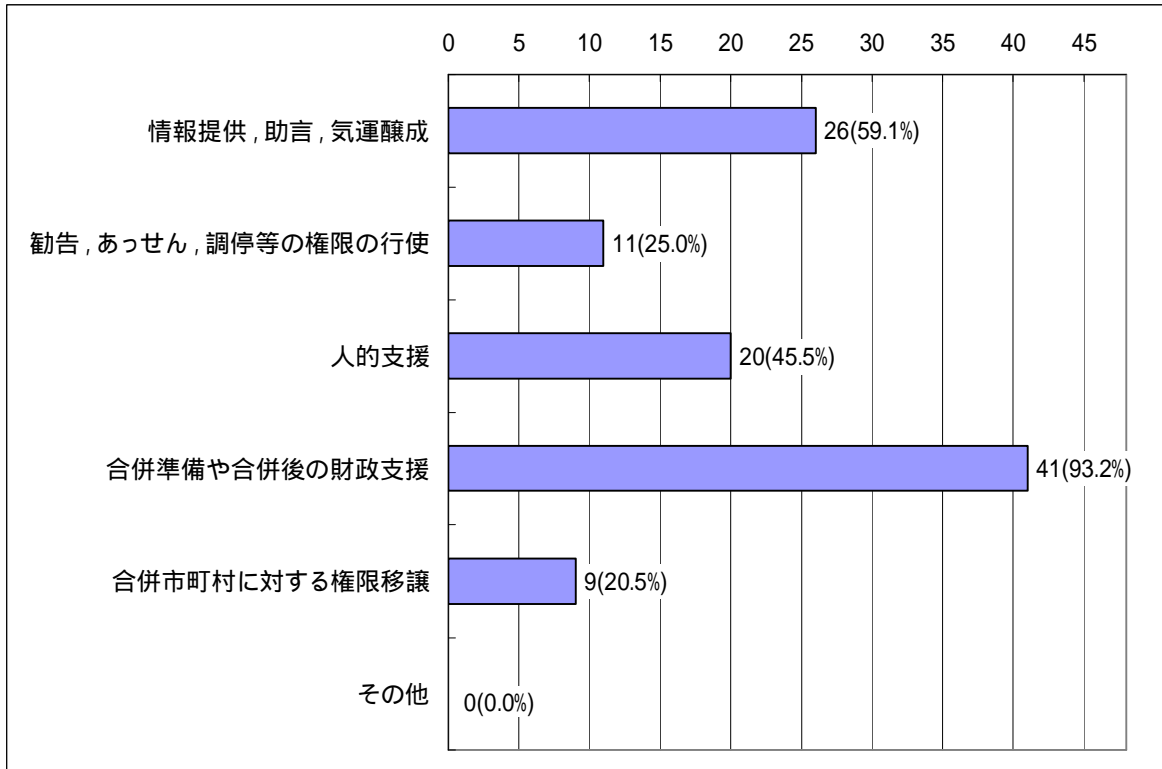
< 概要 >

- ・ 合併の検討を進めていく際の課題としては、「住民サービスや負担の格差」が35市町村、「住民の意識」が33市町村から挙げられ、他の理由と比べても非常に高い割合を示している。
- ・ このことから、合併の検討を進める際には、住民に十分な説明を行い、住民意向を踏まえながら推進していくことが必要と考えられる。

問10 新合併特例法において、さらに市町村合併を推進していくため、県に期待する支援措置は何ですか。

県に期待する支援措置（3つ以内）

n = 44



<コメント>

- ・ ほとんどの市町村が、さらなる合併の推進のためには、県に対し「合併準備や合併後のまちづくりに対する財政支援」を求めている。
- ・ 次いで「情報提供, 助言, 気運醸成」が26市町村, 「合併協議や合併市町村に対する人的支援」が20市町村となっている。
- ・ 新合併特例法における新たな「勧告, あっせん, 調停等の権限の行使」については11市町村が期待している。